

令和5年度産地交流事業

令和5年11月28日（火）朝9時に、会員28名が、広島県庁北の集合場所から壬生交通の大型バスで、今回の産地交流事業の視察先である山口県周防大島町の瀬戸内ジャムズガーデン工房を目指して出発しました。

現地に到着後、早速、ジャムづくりの工房や果実農園をスタッフに解説をしていただきながら見学し、交流を深めました。



今回の視察では、小規模ながら柑橘の島の特性を生かし、農家と連携したジャムづくりという周防大島ならではの商品開発や地域起こしの取組について見聞し、理解を深めることができました。

そして、昼食には、寒い季節にぴったりの「みかん鍋御膳」をいただき、会員同士の親睦を深めることもできました。また、この視察をきっかけとして、数名の新会員の方にご入会いただけたことも大きな成果でした。

広島消費者協会では、今後とも、食の安全と安心の確保に資するため、生産地等を視察し、消費者と生産者等との交流を図り、相互理解を深めていきます。

